

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果

問合せ先 ● 学校教育課 ☎63-3118

宍粟市の全体的な傾向と特徴

教科に関する調査…全国の状況と比べて学力が向上傾向

- ・ 小学校算数は全国平均を上回りました。また、小学校国語は全国平均と同程度になりました。
- ・ 中学校は同生徒が小学校時に実施した(令和3年度)結果と比べ、全国平均との差が縮まりました。
- ・ 小中学校ともに、無解答の割合が減っており、粘り強く取り組む姿勢が身についています。
- ・ 小中学校ともに、話し合い活動を想定した問題への対応について課題がみられます。

質問紙による調査…学力向上の根幹となる自己有用感などが全国より高い傾向

- ・ 「学校へ行くのは楽しい」と回答した割合は、全国平均を大きく上回っています。
- ・ 自己肯定感・自尊感情に関する質問に対する肯定的な回答の割合は、全国を上回っています。
- ・ 人間関係や思いやりなどに関する質問に対しても、前向きな回答の割合が多い傾向です。
- ・ 家庭学習に取り組む時間について、引き続き課題がみられます。

文部科学省は毎年4月に、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策や学校の学習指導の充実に役立てることを目的に、全国すべての小学6年生と中学3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」を実施しています。令和6年度は、国語・算数・数学、質問紙調査が実施されました。宍粟市では、この結果を分析し、よいところはさらに伸ばし、課題はしっかりと改善するために、小・中学校が連携して学力向上に取り組んでいます。



調査の概要

(1)調査人数 小学校6年生【282人】 中学校3年生【275人】

(2)調査内容

ア 教科に関する調査

- ・ 小学校6年生【国語、算数】 ・ 中学校3年生【国語、数学】

イ 児童生徒への質問紙調査

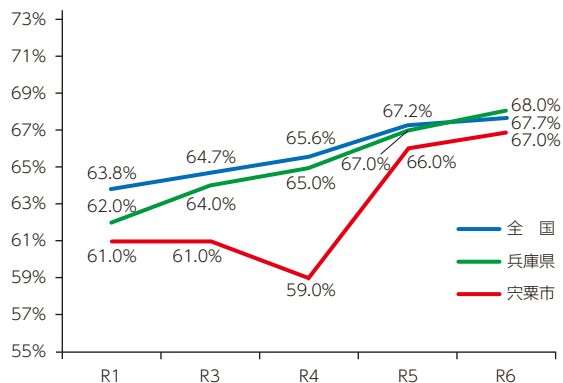
- ・ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する質問

出題された問題は
コチラ

※この調査により測定できるのは学力の一部であって、結果の数値などは児童生徒の学力の全てを表すものではありません。

教科別(国語・算数・数学)の全国と比較した学力状況の推移

小学6年生 国語



【よかった点】

- ・文章中に書かれたひらがなを内容に沿って適切な漢字で書くことができています
- ・主語と述語の関係を正しくとらえることができています
- ・登場人物や全体の様子を想像し、文章中の言葉を取り上げて、決められた文字数で書くことができています

【課題】

- ・説明するときに、資料を分類したり関係づけたりしながら話す内容を考えること

小学6年生 算数



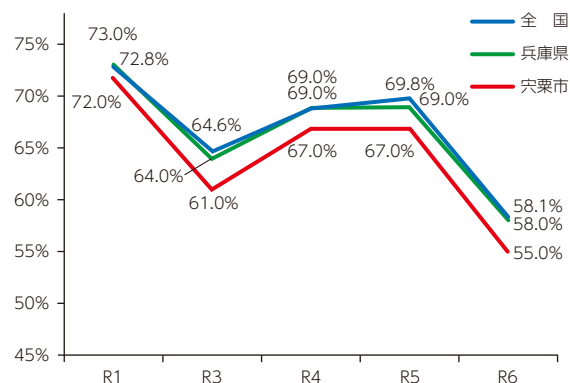
【よかった点】

- ・直径や円周の長さ、円周率の関係がわかっている
- ・小数での割り算ができています
- ・折れ線グラフから必要な数値を読み取り、言葉と数字を使って説明することができています

【課題】

- ・かけ算の性質を理解し、その性質を使って計算の仕方を説明すること

中学3年生 国語



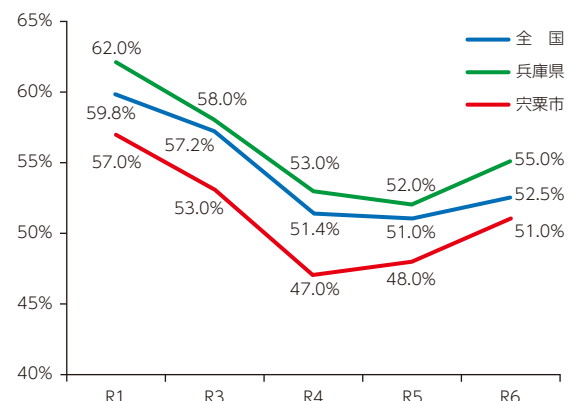
【よかった点】

- ・文章中に書かれたひらがなを文脈に即して適切な漢字で書くことができています
- ・短歌に描写された時間を時系列順にならべることができています
- ・説明するための必要な情報を集めて要約することができています

【課題】

- ・話し合いの話題や発言内容をとらえ、自分の考えをまとめて書くこと

中学3年生 数学



【よかった点】

- ・連続する2つの偶数を、 n を使った式で表すことができています
- ・正方形が回転移動するときの、頂点の動き方が理解できています
- ・2つのグラフとy軸が交差している点が表している事象が理解できています

【課題】

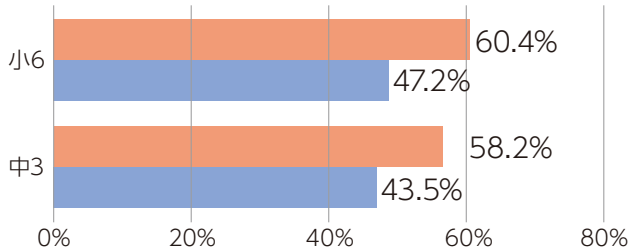
- ・2枚の硬貨を投げたときの確率を求めること

児童生徒の学習・生活状況について(児童生徒質問紙調査から)

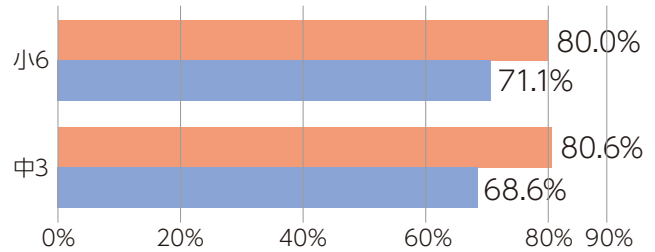
質問紙調査では、学校や家庭における学習状況や学校生活、人間関係、自己有用感、ICTの活用などに関する質問があります。宍粟市の子どもの回答状況をお知らせします。

宍粟市 全国

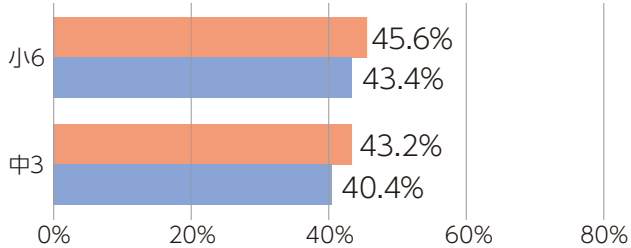
学校へ行くのは楽しい



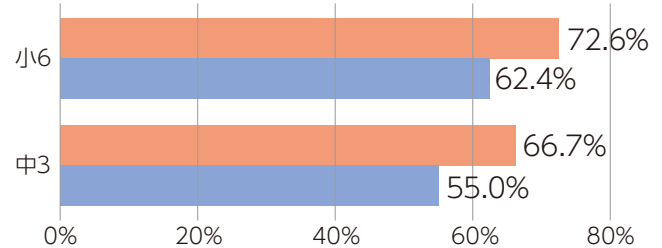
自分にはよいところがある



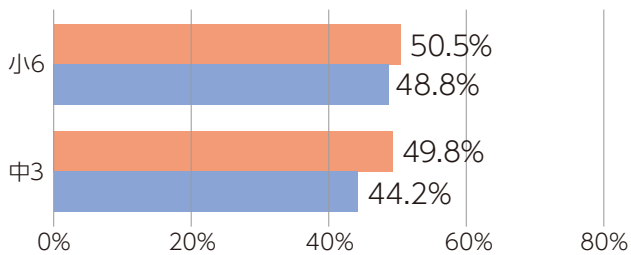
先生は、あなたのよいところを認めてくれている



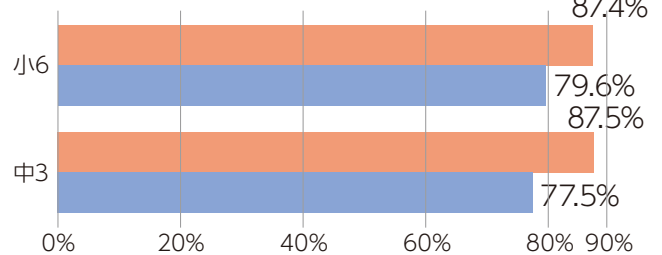
人の役に立つ人間になりたい



今友だち関係に満足している



いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う

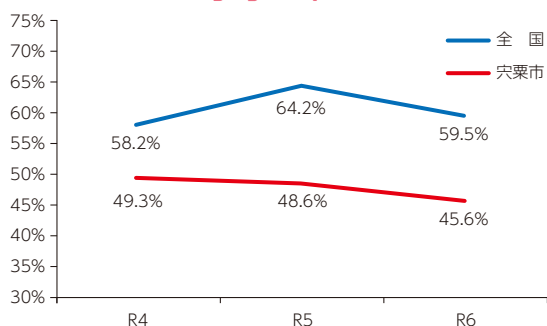


タブレットの活用について

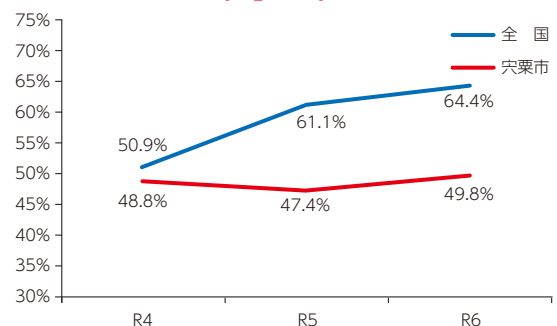
今年度の調査では、タブレットなどのICT機器活用に関する質問項目が多くなっていました。兵庫県教育委員会の「指導の重点」や市の「宍粟の教育」ではタブレットの活用を「日常化」させることを重視しています。また、調査結果からICT機器を効果的に活用する学校の平均正答率が高い傾向にあり、ICT機器を積極的に活用することが大切です。

前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
(週3回以上と回答した児童の割合)

小学6年生



中学3年生





教育委員会からの別冊です。
広報紙からはずしてご覧ください。

子どもたちの「豊かな学び」と「確かな学力」の定着にむけて

宍粟市で子どもたちの学力向上に向けた取り組みの一部を紹介します。

小・中合同で子どもが主体的に取り組む 総合的な学習の時間を研究

宍粟市では、小中一貫教育の推進以外にも、教科などで市内小・中学校教職員が協働し、研究・協議を進めています。「宍粟市小中学校生活・総合研究部会」では、子どもたちがより主体的に学習活動に取り組むカリキュラムづくりやテーマづくり、探究活動について研究を行っており、授業研究会も合同開催しています。

「思考・判断・表現」ツールとしての ICT機器活用のための授業実践

学校にタブレットが導入されて以降、その活用についての研究が進められています。宍粟市小学校視聴覚ICT教育研究部会では、授業実践を通じて、子どもたちがICT機器を効果的に、そして日常的に活用できるよう、議論を進め、今年度、近畿地区での実践発表を行います。

数学・理科甲子園ジュニア2024で 市内中学校2校が入賞!

毎年、兵庫県教育委員会が開催する数学と理科の知識やその活用を競う大会に積極的に参加しています。今年度は8月8日、神戸常盤アリーナで開かれました。兵庫県内の国公立・私立中学校70チームが参加する中、宍粟市の一宮南中学校「チーム一南」が4位、波賀中学校「チーム波賀」が5位に入賞しました。



中学校生徒の英語力向上をめざして (英語検定料補助事業)

子どもたちの英語力向上のために、昨年の調査結果を分析・研究し、授業づくりを柱に、小学校と中学校のスムーズな接続にも取り組んでいます。小・中学校がそれぞれ授業研究に取り組んでいるほか、今年度から市内中学校生徒を対象に「実用英語技能検定(英検)」の受験料を1年度につき1回、全額補助しています。

ふるさと宍粟 魅力発見! 社会科副読本「わたしたちの宍粟」

小学校3・4年生で社会科学習がより効果的に取り組めるように、また、ふるさと宍粟のよさをもっと知ってもらえるように、副読本をデジタルブック化しました。誰でも簡単に見ることができます。

デジタルブックは
コチラ



今後の取り組みについて

公表された全国の調査結果から明らかになった課題は、宍粟市の結果と共通するところもあります。しろう学力向上検討委員会で、授業改善のポイントなどを市内教員向けにリーフレットを通じて提言していきます。また、質問紙調査の結果を受け、自分で学び方を考え、工夫する子を育てるために「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、研修の充実や授業実践の活性化を図ります。さらに、考えをまとめて発表・表現する場面でICTをより一層活用できるよう、学校のサポートを行います。また、各学校では学習習慣や読書習慣の定着のために工夫して取り組んでいます。習慣の定着には家庭との連携が不可欠ですので、今後ともご協力ください。